

## 令和2年度第1回 三重県地方創生・SDGs推進本部会議概要

- 1 開催日時：令和2年5月14日（木） 9:20～9:30
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

### ●山本企画課長（資料に基づき説明）

資料1については、「三重県地方創生・SDGs推進本部」の設置要綱であり、資料2は、第3次行動計画におけるSDGsの推進についてである。SDGsの考え方は、三重県らしい多様で包容力ある持続可能な社会の構築に大きく寄与するものと考えられることから、第三次行動計画の各施策の取組を進めていくことが、SDGsの17の目標の達成にも寄与するという一方で、それぞれの施策とSDGsの17の目標とが対応する表となっている。各部局においては、各施策の推進を着実に進めていただくようお願いする。

資料3については、「ミッションゼロ2050みえ」の事業概要である。この事業においては、三重県の実態として、ものづくり県であることや、若者の県外流出が多いこと、四日市公害問題に取り組んできたこと、脱炭素宣言を昨年度行ったこと、海女漁が受け継がれる地であることなどを背景として、2030年のあるべき姿として、若者に三重県の地域課題の解決に向けた取組に積極的な参画を促し、若者のシビックプライドの醸成、活躍できる場の創設へとつなげていくことで、若者が県内に定着し、活躍する人材へと成長する姿を目指している。

資料4について、企業・NPO・市町等の皆様と協働・連携をしていくための窓口として「SDGs推進窓口」を設置した。この窓口を経由して様々な提案を受けて、それを各部局とマッチングする窓口としていきたいので、御協力をお願いする。

### ●知事

新型コロナのことがあって、「持続可能」ということの大切さというのを、三重県民の皆さんもそうだし、世界中の人が実感したと思う。

加えてSDGsの中にある「誰一人取り残さない」ところにおいても、そういう関係性を作っていないといけないということについて、SDGsの根本的な考え方が一層重要であるということを今回のコロナの経験で、実感していたと思っています。

今回の第三次行動計画をまとめた時よりも、多くの方が実感していると思うので、そういう県民の皆さんの実感値を大事にしながら、SDGsの考え方に基づいた施策を積極的に展開してほしいと思っている。

SDGsは先ほど、持続可能という話をしたが、人々の行動変容から社会を変えていくというものであることから、そういう意味では、まさにコロナと共にある、コロナの後、一人ひとりが行動を変容して、地域社会を変えていく、ということにまさに整合したものであると思うので、改めて各部局において、そういう観点で施策の展開を図ってほしい。

加えて、若者チームのことなども含めての今後の展開に当たっては、コロナのことも加えてしっかり取り組みを進めていってほしい。